

第49回衛生教育奨励賞実施要領

1. 目的

公衆衛生事業は、常に衛生教育的な側面に多大な配慮をもって行うことによって、より一層の効果が期待できるものである。この衛生教育活動の普及と発展に資するため、優秀な事例に対し衛生教育奨励賞を授与し、もって衛生教育活動の進展に資するものとする。

2. 事例

- 1) 事業主体は次の4種とする。
 - ① 保健所が自ら実施したもの。
 - ② 保健所と市町村が一体となって実施したもの。
 - ③ 市町村が自ら実施したもの。
 - ④ 各種ボランティア団体など
- 2) 事業は、地域保健サービスに関するもの。
- 3) 実主体の全体活動を網羅的に取上げるのではなく、一定の事業に着目して取りまとめること。
- 4) 対象となる事業は、地域における健康づくり活動の事業にあつては、優秀な事例として2～3年以上継続して実施されると認められるもの、または、実施したものとする。

3. 応募要領

- 1) 応募原稿は原則として所定の様式で作成のこと。
 - 2) 応募者は実施主体とする。ただし、上記2の1)の②の場合は、保健所と市町村の連名とする。
 - 3) 事業内容の提出は、次の8項目に留意してまとめること。
 - ① 活動事例のテーマ（事業名）
 - ② 実施主体（団体）名
 - ③ 対象者（だれに）（集団）
 - ④ 対象人数（規模）
 - ⑤ 実施期間
 - ⑥ 目標（ねらい）、活動意図
（どのようなことを対象〔相手〕にしてもらうこと〔成果〕を期待しての活動か・・・たとえば、住民検診の受診行動を上げることに狙いを置いたとか、その目標を具体的に明示すること。およそ200字程度にまとめること。）
 - ⑦ 実際活動（内容）
（どのような教育的配慮〔手だて〕を用いて実際活動〔企画、実践〔施〕〕を展開したか具体的に説明すること。およそ1,000字程度にまとめること。）
 - ⑧ 活動上の留意点
（実際活動を通じて、留意された事項の要点を経過を追って記述すること。およそ800字程度にまとめること。）
- ※ この事例の解説に必要な資料、文献は別添（7部）とする。

4) 提出用紙の様式はA4サイズとする。(併せて、審査資料作成のため、提出された書類の応募原稿用紙をメールにて送信くださいますようご協力をお願いします。データにて様式を希望の場合は下記アドレスにご連絡ください。)

4. 審 査

応募された事例につき、一般財団法人日本公衆衛生協会が委嘱した委員により選考する。

5. 入 選

5点以上10点以内

6. 表 彰

入選したものは、表彰状と副賞を贈呈する。